

第31回技能グランプリ審査講評

ペイント仕上げ

競技主査

井岡重政

厚生労働省・中央職業能力開発協会・（二社）全国技能士会連合会主催の第三十一回技能グランプリが、セントレア国際空港近くの愛知県国際展示場で、二月十九日から四日間、開催されました。

新型コロナウイルスの影響により、首都圏をはじめ愛知県にも二度目の緊急事態宣言が継続される中で開催になりました。

愛知県広告美術業協同組合の池上肇理事長をはじめ同組合の皆様には、準備から撤去まで献身的にお手伝いいただき、コロナによる大変な状況下ではありましたが、スムーズな運営になりました。ありがとうございました。

残念ながら二名が欠席されましたが、ペイント四名、シート九名の参加を得ました。選手諸氏の勇氣と熱意に敬意を表すると共に、感謝申し上げます。ペイントの選手確保の課題は今回も解消できませんでした。

今回のテーマは、「ニッポンを元気にする」。新型コロナウイルス感染症拡大により生活が大きく変貌し経済的にも大きな影響を受けている今回は、「食」・「旅」・「技」等の何れかを対象に取り上げ、その魅力を紹介することで日本を元気にする作品を制作すること。そこで七福神など神頼みの物が二点、富士山の入った物がシートも含めると三点と、新型コロナウイルスの何か掴み所の無さを反映したようです。

金賞 大園望氏

前回（銀賞）に続いての金賞狙いの参加でしょうか。人は願ひごとを「神頼み」しますが、神様たちも「人頼み」したので、暗に人の力を信じ、努力を期待する作品かと思われます。しかし人間が七福神に頼っている図に見えました。



愛知組合による設営

中心部分のブルーからグリーンのぼかしに少し

ラインが目立ちました。タイトルの色とデザインに工夫が見られませんでした。あえてシンメトリーにすることで、近年に見られなかった全体的にまとまりのある構図が成功した作品でした。

銀賞 瀬長洋一氏

まさしく恵比須様に、国難たる荒波から日本を釣上げる「救い出す」構図でわかり易い作品でした。扇の描き方は見事でした。扇に乗るすべての物に、その折り目に沿って濃淡を付けることで、立体的に引き立ちました。左下はコロナウイルスを表したものでしょうか、汚れに見誤りそうでした。

あえてきつい注文をつけますが、タイトルとコピーは、デザイン・位置どれをとつても不可でした。特にタイトルの位置が上につまり過ぎて全体をつぶしてしまいました。大変残念な作品でした。

優秀賞 守屋一輝氏

「技」に焦点をあてた、テーマに沿った作品でした。人間の手に変わって機械がそれに取って代わるAI時代を反映したのになりました。SUPPとコピーの文字の透けを無くす為、白で押さえ、その上に色をのせる作業に技能士（職人）の手間を惜しまない姿を見せてもらいました。

ただ下図原稿のようなキレと冴えが見られませんでした。バックのブル

の色が白ぼけてしまったことで、指先のあたる白の放射線の部分の冴えが無くなりました。コピーの文字の色と大きさに工夫がほしかったです。デザインは、従来から多くみられるレイアウトで斬新さが感じられなかったことも残念でした。

優秀賞 藤田一氏

大変わかり易く観光振

粘着シート仕上げ

競技主査

中川知明

ークを施し、星座と絵柄をマッチさせ、ポイントも付けて美しい仕上げになったと思います。

初めの原稿には無かったのですが、タイトルの裏側の処理も文字だけの黄色から、ロゴの飾りとしてあえて横ライン上にあるのか？安定感を増しています。

まず全体を濃淡の二色のブルーで重ね貼りし、上側の濃いブルーに白マーカーを使ってフリーハンドで星座の絵柄を描く。そして絵柄を描いた濃いブルーのみをラインカットし、下側の薄いブルーが出てくるように剥がします。

金賞 三浦洋介氏

この時、切り込みすぎた。人間の手に変わって機械がそれに取って代わるAI時代を反映したのになりました。SUPPとコピーの文字の透けを無くす為、白で押さえ、その上に色をのせる作業に技能士（職人）の手間を惜しまない姿を見せてもらいました。

銀賞 花牟禮祐一氏

基本は黒色シートを全面に貼って抜き加工とし、裏から色付けをするオーソドックスな手法です。

画面右上四分の一くらいにタイトルとコピーを一体化させ、張り出しを持たせました。その下から画面左側に大きく描かれた北斎の波！

黒ベタから抜き加工という単調に見えるがちな手法を大胆に、しかも非常に目立つ色使いで、光琳の渦巻から北斎の大波に

最後に前回を含め、全体として作品がシートに比べ「引き締まり」に欠けるようです。レタリングの重要性を今一度見直し、優れたレタリングが作品を引き立てることを考えていた方がいいです。

銅賞 鈴木淑仁氏

画面下四分の一に黒色シートから抜き文字でタイトルとコピーを二段に入れ、上面いっぱいに四人のアスリートを描いた大胆な作品です。シート

の使い分けの上手さと、デザイン力が目立った、斜体だけでは少し安易すぎるのではないかと感じました。

下部、黒シート抜き加工は裏紙の付いた状態で始まりました。長さもあつてか少しヨレてしまいましたが、貼り込みで上手く挽回していました。

銅賞 田中敬次氏

オリンピックが開催される首都東京の夕焼けの景色を背景に、五輪の輪の一つを手に取りオリンピックをサポートする事を表現し、デザイン・色の使い方共にバランスのとれた作品です。特にデザインは、今回の作品中トップレベルだと思います。

また、ベースに透明アクリル板を使い、突き合わせ貼り、表貼りと裏貼りととの重ね具合の「妙」でも言えますが、薄いグラデーション効果など、大きなスペースに難しい技法を多用しています。

それゆえ貼り込みの甘い部分や、気泡なども見られましたが、とてもデザイン力のある美しい作品に仕上がりました。

森田結貴氏

今回の参加者で異色だったのがこの作品でした。材料はフォグラス系のシートをメインとし、真ん中にタイトルとコピーを配置して周りには四季の花々を散らした作品です。無彩色系の色使いでど

のように仕上げるのか楽しみにしていました。中々地味な素材で、美しく目立たせることは難しいのですが、仕上がりは少し単調になってしまつたようです。絵柄の原稿は全てフリーハンドですが、抜き加工がほとんどなので視覚的には平面的になってしまいました。

もう少し多様なカットイング、貼り込みの手法を組み合わせ、また裏側からの加工も取り入れて欲しかったと思います。

無彩色系でも全体的に柔らかな雰囲気と立体感で面白い作品は出来るので、もつともつと想像力を豊かに、またチャレンジしてください。

画面ベースは上段を黄色、下段を茶色で分けて、左上にタイトル、下段にコピーを配置し、主に右側にスポーツをする姿を図柄にして全体をまとめた作品です。

寺島健治氏

画面は都市と緑の大地に桜が咲き、富士山と青い空を描いたスケールの大きな作品です。これだけの絵柄を全面に繋ぎ合わせ、しかも美しく仕上げることはかなりの作業量と時間が必要です。

出場三回目の寺島さんのことですから、練習も十分されたことと思いますが、もう少しどこかで帳尻を合わせ簡素化するところがあればな、と残念でならない作品でした。出来上がった作品を見ますと、そのまま大手の不動産会社の看板になりそうな、綺麗な作品となっていますので尚更です。必ず次のトップを目指してください。

画面面上段は空のブルーに英文字のコピーを抜き加工、下段は大地を黄色・黄緑として突き合わせで繋いでいます。そしてタイトルは隙間開け仕様として画面中間に稲穂・米俵・茶碗ご飯と、三つの絵柄を並べています。

意図は伝わって来るのですが、絵柄が単調で弱く見えるのと、俵の周りの隙間開け加工や、茶碗の縁の抜き加工も荒さが目立って絵柄の質感が下がって見えてしまいます。

また、この作品も図柄のデザインとタイトル、そしてコピー文字のバランスなど、もう少し繋がりをもたせて全体的にメリハリのある作品に仕上げて欲しかったです。

画面は都市と緑の大地に桜が咲き、富士山と青い空を描いたスケールの大きな作品です。これだけの絵柄を全面に繋ぎ合わせ、しかも美しく仕上げることはかなりの作業量と時間が必要です。

出場三回目の寺島さんのことですから、練習も十分されたことと思いますが、もう少しどこかで帳尻を合わせ簡素化するところがあればな、と残念でならない作品でした。出来上がった作品を見ますと、そのまま大手の不動産会社の看板になりそうな、綺麗な作品となっていますので尚更です。必ず次のトップを目指してください。

画面面上段は空のブルーに英文字のコピーを抜き加工、下段は大地を黄色・黄緑として突き合わせで繋いでいます。そしてタイトルは隙間開け仕様として画面中間に稲穂・米俵・茶碗ご飯と、三つの絵柄を並べています。

小路昌民氏

画面面上段は空のブルーに英文字のコピーを抜き加工、下段は大地を黄色・黄緑として突き合わせで繋いでいます。そしてタイトルは隙間開け仕様として画面中間に稲穂・米俵・茶碗ご飯と、三つの絵柄を並べています。

意図は伝わって来るのですが、絵柄が単調で弱く見えるのと、俵の周りの隙間開け加工や、茶碗の縁の抜き加工も荒さが目立って絵柄の質感が下がって見えてしまいます。

また、この作品も図柄のデザインとタイトル、そしてコピー文字のバランスなど、もう少し繋がりをもたせて全体的にメリハリのある作品に仕上げて欲しかったです。

画面面上段は空のブルーに英文字のコピーを抜き加工、下段は大地を黄色・黄緑として突き合わせで繋いでいます。そしてタイトルは隙間開け仕様として画面中間に稲穂・米俵・茶碗ご飯と、三つの絵柄を並べています。